

## CONTENTS

特集  
Special Features

# セキュリティ要求工学の実効性

## Security Software Engineering is Useful in Practice?

- 185** 編集にあたって 吉岡信和・田口研治  
Foreword Nobukazu YOSHIOKA and Kenji TAGUCHI (National Institute of Informatics)
- 187** 1. セキュリティ要求工学の概要と展望 吉岡信和・Bashar Nuseibeh  
Overview and Future of Security Requirements Engineering Nobukazu YOSHIOKA (National Institute of Informatics) and Bashar NUSEIBEH (The Open Univ.)
- 193** 2. SQUARE ではじめるセキュリティ要求工学 Nancy R. Mead・吉岡信和  
Square Up Your Security Requirements Engineering with SQUARE Nancy R. MEAD (Carnegie Mellon Univ.) and Nobukazu YOSHIOKA (National Institute of Informatics)
- 198** 3. セキュアトロポス (Secure Tropos) 概論 Haralambos Mouratidis・田口研治  
An Introduction to Secure Tropos Haralambos MOURATIDIS (Univ. of East London) and Kenji TAGUCHI (National Institute of Informatics)
- 203** 4. KAOS によるセキュリティ要件の獲得・分析 田原康之・Axel van Lamsweerde・Emmanuel Letier  
Security Requirements Acquisition and Analysis Using KAOS Yasuyuki TAHARA (The Univ. of Electro-Communications), Axel van LAMSWEERDE (Université Catholique de Louvain) and Emmanuel LETIER (Univ. College London)
- 209** 5. 実践的セキュリティ要求工学に向けて 山本修一郎  
Aiming for Practical Security Requirements Engineering Shuichiro YAMAMOTO (NTT DATA Corp.)
- 216** 6. 日本ユニシスにおけるエンタープライズ・セキュリティ・アーキテクチャ (ESA) 平岡昭良  
Enterprise Security Architecture in Nihon Unisys Ltd. Akiyoshi HIRAOKA (Nihon Unisys Ltd.)
- 222** 7. コモンクライテリアにおけるセキュリティ要求の規定の現状と課題 金子浩之  
Security Requirements Definition in Common Criteria : in the Present and Challenges Hiroyuki KANEKO (Mizuho Information & Research Institute, Inc.)
- 230** 8. 企業におけるセキュリティ分析技術の実効性 大久保隆夫  
Effectiveness of Security Analysis Techniques in Enterprises Takao OKUBO (Fujitsu Labs. Ltd.)



- 235 ネットワーク観測とマルウェア解析の融合に向けて— インシデント分析センター nicter の研究開発 — 中尾康二・井上大介・衛藤将史・吉岡克成・大高一弘  
Toward Automated Correlation between Network Monitoring and Malware Analysis - R&D of Network Incident Analysis Center nicter - Koji NAKAO, Daisuke INOUE, Masashi ETO (National Institute of Information and Communications Technology), Katsunari YOSHIOKA (Yokohama National Univ.) and Kazuhiro OHTAKA (National Institute of Information and Communications Technology)
- 243 プログラミング言語 Erlang の動向 井上 武  
A Report on Erlang and its Trends Takeru INOUE (NTT Network Innovation Labs.)

- 248 わが支部の魅力はここにあり 中国支部：ユニークな講習会と運営の効率化に挑む  
會澤邦夫  
Activities in Regional Sections : Striking Workshops and Striver for Efficient Secretariat Steering Kunio AIZAWA (Shimane Univ.)



その他

- |                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 250 会員の広場                        | 261 アンケート用紙  |
| 252 IPSJ カレンダー                   | 262 編集室／研究会活動のオンライン化と研究報告のオンライン出版（印刷物の廃止）について／次号予定目次 |
| 254 人材募集                         | 263 掲載広告カタログ・資料請求用紙                                  |
| 256 有料会告について                     | 264 賛助会員のご紹介   |
| 259 第 52 回臨時総会報告／論文誌ジャーナル掲載論文リスト |  |
| 260 おふいすらん                       |  |



社会人大学院のゼミに医療関係者が多くなってきた。電子カルテなどの医療システムを作る立場の人もいるが、現場で看護師として働いている人もいる。特に後者は、病院の情報化について責任をもたされる立場の看護師長だったりする。そんなゼミでは頻繁に、要求仕様について意見が対立する。システム屋が提示する格好のよい話に、現場側の人が苦情というか「現実離れしている」と反論するのが常。扱っているケースが単純すぎるのが原因の1つではあるが、とにかく、要求仕様の作り方の“いい加減さ”に対するユーザ側の不信の強さは相当なものがあるようである。目に見える、つまり必要機能として明確にできる機能要件ですらこの有様なので、外面的に必要ではないが実は重要な機能（非機能要求というらしい）については推して知るべし、というところだろう。適確な要求獲得の問題は永遠の課題であるのかもしれない。

今月号の特集は「セキュリティ要求工学の実効性」で吉岡信和、田口研治、田中秀樹がエディタ。“セキュリティ確保”という典型的かつ重要な非機能要求をシステム内で実現させるための仕掛けについての話。セキュリティについては、機密性、整合性、可用性といった軸や、最小特権の原則といった原理、対処法（レベル）としての回避、軽減、防御、記録、といった戦略、という大まかな枠組みはあるが、そもそも何を何からどの程度守るか、ということから明らかにする必要がある、経営サイドから技術分野までかかわる人の多さから、なかなか難しい話がたくさんあるようだ。特集では、概要に続いて、提案されている手法（SQUARE、セキュアトロポス、KAOS）の紹介、そしていくつかの実例が示されている。総体的には、「あれも必要、これも必要、でもすべてをきちんとやるのはとても大変」というのが実情らしい。マイクロソフトの脅威モデリングが目を惹いたが、これも同社だから有効である、とのこと。先はまだまだ長い道らしい。

「ネットワーク観測とマルウェア解析の融合に向けて—インシデント分析センター nicter の研究開発—」（中尾康二他）は、いわゆるマルウェアの活動の観測と検知活動の話。インターネット観測による攻撃情報の収集と解析（マクロ解析）と検体自体の解析（ミクロ解析）、およびそれらの融合を目指しているという。IRCを利用するボットネットの誕生話や、未使用IPからなるダークネットの話が興味深い。

「プログラミング言語 Erlang の動向」（井上武）は、エリクソンが開発した、分散した電話交換機を想定した言語の紹介。多数のCPU（コア）のための並列計算に強いという。言語自体の説明がほんの少ししかなく、他の並列言語との比較もないことに不満が残るが、あとは自分でいろいろ触れ、ということだろう。

「中国支部：ユニークな講習会と運営の効率化に挑む」（會澤邦夫）は、“わが支部の魅力はここにあり”のシリーズ。多彩な活動の様子とともに、支部事務作業の外部委託のプランなども紹介されている。  
(Nimble Jack)



会誌編集委員会

編集長

川合 慧

担当理事

武田 浩一

松原 仁

本号エディタ

石田 亨

位野木万里

兼宗 進

久門 耕一

胡 振江

後藤 厚宏

佐伯 元司

佐藤 浩史

白木 善尚

田口 研治

田中 哲朗

田中 秀樹

長谷川 亨

前田 英作

間瀬 久雄

山之内 徹

山本里枝子

吉岡 克成

吉岡 信和

編集スタッフ

後路 啓子

町田 善江

綿谷 亜樹